

平和の尊さを後世に

～戦没者追悼式～

戦後63年が経過しました。私たちが今日享受している平和は、戦争で命を落とされた方々の尊い犠牲の上にあります。戦没者のご冥福をお祈りし、平和の尊さを後世に伝えるため、市では、8月から10月にかけて、市内5地域で戦没者追悼式を開催しています。各地域の追悼式には、中嶋市長も参列し、皆さんとともに追悼の意を表します。

式典に続いて作文朗読があり、水口会場では今年8月の広島平和記念式典に参加した児童7名が、原爆の悲惨さなど現地での体験を発表しました。



▲広島での体験を発表する小学生（水口会場）

関西ゴルフ連盟が AED2台を寄贈

■関西ゴルフ連盟森下理事長から中嶋市長へ
目録の贈呈（右は優勝した石川遼プロ）



このほど関西ゴルフ連盟から市にAED（自動体外式除細動器）2台を寄贈いただきました。第74回関西オープンゴルフ選手権競技が市内のゴルフ場で開催されたことを記念し、チャリティーの一環としていただいたもので、8月24日の競技終了後、関西ゴルフ連盟の森下理事長から中嶋市長へ目録書が手渡されました。

寄贈いただいた機器は、自治会などでのイベントに貸し出し、皆さんに使っていただく予定です。詳しくは、今後の広報でお知らせします。

循環型社会形成の一翼を担う

産業廃棄物管理型最終処分場 クリーンセンター滋賀

10月30日開業

（財）滋賀県環境事業公社が、甲賀町神地先において、平成17年9月から建設を進めてきた産業廃棄物管理型最終処分場「クリーンセンター滋賀」が、10月30日（木）に開業します。

施設の設置にあたっては、周辺環境への影響をできるだけ小さくするために、地形の変更をできる限り少なくし、また、施設の工法においても、生物の生息・生育環境に配慮して整備されています。



▲開業が決まったクリーンセンター滋賀

安全性と信頼性のモデルとして

「クリーンセンター滋賀」では、処分場からの浸出水の流出を防ぐために、多重の安全構造としており、浸出水は水処理施設で一定の水質浄化を行ったうえで公共下水道に投入し、環境負荷の低減と安全性を追求しています。

また、社会的な信頼性を高めるために、技術的な安全性はもとより、管理運営面においても情報公開を行います。産業廃棄物の搬入、埋立情報、水処理情報や各種環境調査等のデータを定期的に公開するとともに、地域の方々や学識を有する人々、県・市職員などで組織する「クリーンセンター滋賀環境監視委員会」において、管理期間の将来まで監視活動を続けるなど、オープンな処分場をめざします。

皆さんの声を大切にしながら運営

「クリーンセンター滋賀」は、安全・安心を第一に、皆さんからの声を大切にしながら、施設の運営に努めます。なお、開業初年度は、埋立処分料金を25%割引して営業します。施設の利用、料金などの詳しい内容は、公社のホームページ（<http://www.kouka.ne.jp/~skj-ccs/>）をご覧ください。

問い合わせ

（財）滋賀県環境事業公社

クリーンセンター滋賀（甲賀町神645）

☎88-9191 FAX88-6322